

平成 26 年度秋期基本情報技術者試験(午前の部) 解答・解説

問 1 エ

[解説]

16 進小数の各桁は、小数点の右に進むにつれて、

$$(0.1)_{16} \rightarrow (1/16)_{10}$$

$$(0.01)_{16} \rightarrow (1/256)_{10}$$

$$(0.001)_{16} \rightarrow (1/4096)_{10}$$

$$(0.00\cdots 00)_{16} \rightarrow (1/16n)_{10}$$

というように、 16^{-n} を表している。

$1/32$ の分母を 16 進小数の小数点第 2 位の $1/256$ と通分すると $8/256$ になるので、小数点第 2 位を 8 にした 0.08 が正解となる。

問 2 ア

[解説]

キー値 55550 が 11 進数だとすると、桁ごとに 11 の累乗になっているので、10 進数に変換するには、

$$5 \times 11^4 + 5 \times 11^3 + 5 \times 11^2 + 5 \times 11^1$$

という式を計算すればよく、この式の答えは 80520。80520 の下 4 けた「0520」に 0.5 を乗じた 0260 が参照すべきアドレスということになる。

問 3 エ

[解説]

32 ビットで表現できるビットパターンは 2^{32} 種類、24 ビットで表現できるビットパターンは 2^{24} 種類なので、

$$2^{32} \div 2^{24} = 2^8 = 256$$

問 4 エ

[解説]

ア: $((a+b)*c)-d$
 $\rightarrow (ab+*c)-d$
 $\rightarrow ab+c*-d$
 $\rightarrow ab+c*d-$
 異なるため誤り。

イ: $(a+(b*c))-d$
 $\rightarrow (a+bc*)-d$
 $\rightarrow abc*+-d$
 $\rightarrow abc*+d-$
 異なるため誤り。

ウ: $(a+b)*(c-d)$
 $\rightarrow ab+*cd-$
 $\rightarrow ab+cd-*$
 異なるため誤り。

エ: $a+(b*(c-d))$
 $\rightarrow a+(b*cd-)$
 $\rightarrow a+bcd-*$
 $\rightarrow abcd-*+$

変換結果が設問の表の式と一致するため適切な組合せである。

問 5 イ

[解説]

スタックは、サブルーチン終了後の戻りアドレスや局所変数などを保持するのに使用される。

問 6 ア

[解説]

イ: 平均比較回数では線形探索より少ない比較回数で目的のデータに辿り着けるが、データ列の先頭付近に目的のデータがあるケースでは線形探索のほうが早くなる

ウ: 探索範囲の中央に位置する値との比較から開始する

エ: 探索対象のデータ範囲が N 個のとき、2 分探索における平均比較回数は「 $\lceil \log_2 N \rceil$ 」

問 7 エ

[解説]

nが4、kが2であるから、以下のようになる。ここで、kが0のときとk=nのときは1になる。

$$\begin{aligned} f(4, 2) &= f(3, 1) + f(3, 2) \\ &= f(2, 0) + f(2, 1) + f(2, 1) + f(2, 2) \\ &= 1 + f(1, 0) + f(1, 1) + f(1, 0) + f(1, 1) + 1 \\ &= 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 \\ &= 6 \end{aligned}$$

問 8 エ

[解説]

ア:文書構造をマークアップで定義する SGML(Standard Generalized Markup Language)を拡張して策定された

イ:XML はテキスト形式なので、OS に付属している普通のテキストエディタで作成・編集が可能

ウ:HTML(HyperText Markup Language)の説明です

問 9 エ

[解説]

1GHz の CPU は、1 秒間に 10^9 回のクロックが発生することになる。1 命令が 0.8 クロックで実行できるので、

$$10^9 \div 0.8 = 1.25 \times 10^9$$

$$1.25 \times 10^9 = 125,000 \times 10^4$$

1 秒間に 125,000 万命令の実行が可能です。

問 10 イ

[解説]

ア:ハードウェア障害の際に行われる、機械チェック割込み(外部割込み)の説明

ウ:入出力割込み(外部割込み)の説明

エ:メモリでのエラー発生は CPU 外部のことなので外部割込みの説明

問 11 イ

[解説]

キャッシュメモリがない、A と B は、主記憶のアクセス時間が実効アクセス時間となる。また、キャッシュメモリがある、C と D の実行アクセス時間は、

キャッシュメモリのアクセス時間 \times ヒット率 + 主記憶のアクセス時間 \times (1-ヒット率)
が実効アクセス時間となる。

A:15 (ns)

B:30 (ns)

C: $20 \times 0.6 + 70 \times 0.4 = 12 + 28 = 40$ (ns)

D: $10 \times 0.9 + 80 \times 0.1 = 9 + 8 = 17$ (ns)

よって、実効アクセス時間が短い順に A→D→B→C となる。

問 12 ウ

[解説]

ROM(Read Only Memory)は読み出し専用で、電源の供給が切れても内容を保持しておくことのできる不揮発性のメモリ。

内容の書き換えができないという特徴を利用して、変更する必要のないシステムプログラムなどを格納しておく用途に使用されることが多い。

問 13 イ

[解説]

ア:機材の搬入が障害発生時なのでコールドサイトになる

ウ:障害発生時にデータの引き継ぎを行う必要があり、日常からシステムが稼働状態ではないためコールドサイトになる

エ:機材の搬入が障害発生時なのでコールドサイトになる

問 14 エ

[解説]

新設される「名古屋～大阪」の稼働率を“K”とすると“0.8K”と表せます。これを並列接続の場合の稼働率の式「 $1 - (1 - K_1)(1 - K_2)$ 」に当てはめると、バックアップ回線新設後の「東京～大阪」の稼働率は以下の式で表せる。

$$1 - (1 - 0.9)(1 - 0.8K)$$

この式の値が目標稼働率である“0.95”以上になればよいので、方程式を立てて解きます。

$$1 - (1 - 0.9)(1 - 0.8K) \geq 0.95$$

$$1 - 0.1(1 - 0.8K) \geq 0.95$$

$$1 - 0.1 + 0.08K \geq 0.95$$

$$0.9 + 0.08K \geq 0.95$$

$$0.08K \geq 0.05$$

$$K \geq 0.625$$

したがって新設されるバックアップ回線には 0.625 以上の稼働率が必要と算出できます。

問 15 ウ

[解説]

ア:偶発故障期間の対策

イ:偶発故障期間の対策

エ:摩耗故障期間の対策

問 16 イ

[解説]

LRU(Least Recently Used)方式は、置き換え対象の中で最も長い時間参照されていないものを置き換え対象とするアルゴリズム。

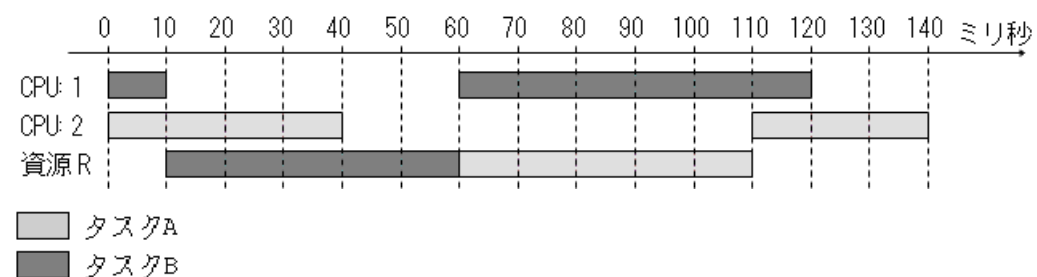
ア:NRU(Not Recently Used)方式の基準

ウ:LFU 方式の基準

エ:FIFO 方式の基準

問 17 イ

[解説]



CPU が2つあるので、同時に CPU を使用することができる。

- ・ タスク A, B が2つのを使用する。
- ・ 資源Rは、1つのタスクが占有するので、タスク A が使用しているときに タスク B は待ちになる。
- ・ タスク A, B が終了するのは、140 ミリ秒である。

問 18 ウ

[解説]

ア:タスクスイッチに関する説明

イ:割込みにに関する説明

エ:ディスクバッファに関する説明

問 19 エ

[解説]

ア:誤り 絶対パス名が、最短とは限らない

イ:誤り 図で、カレントディレクトリが A の場合、file1 を示す場合、c/file1 になる

ウ:誤り 図で、ホームディレクトリが B の場合、file1 を示す場合、file1 になる

問 20 ウ

[解説]

ア:誤り BSD ライセンスは、オープンソースソフトウェアで使用されているライセンス体系で、無保証・免責を宣言し、再配布する際に著作権表示を行うことを条件したライセンスである

イ:誤り コピーライトは、著作権のことである

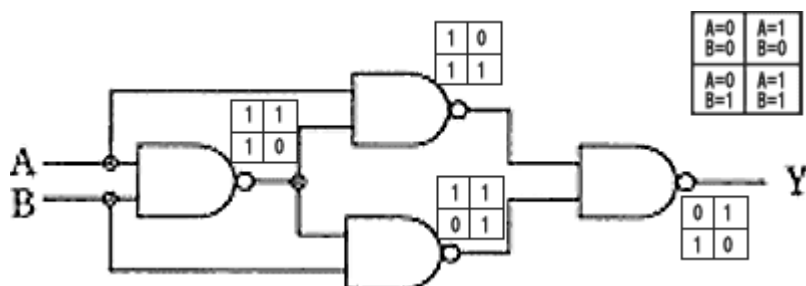
エ:誤り デュアルライセンスは、ソフトウェアなどを複数の異なる利用許諾に基づいて、配布・販売をすることである

問 21 ウ

[解説]

それぞれ A と B が 0 と 1 の値をとった時に、各回路の演算結果である Y の値がどうなるかを考える。

(設問の回路記号は NAND 回路を表している)



入力A	入力B	結果Y
0	0	0
1	0	1
0	1	1
1	1	0

この真理値表は XOR 回路の真理値表と一致しているため、正解は「ウ」となる。

問 22 エ

[解説]

ア:否定論理積を実装した論理回路である

イ:演算装置において 1 けたの 2 進数の加算を行う回路である

ウ:電荷(電気エネルギー)を蓄えたり、放出したりする電子部品である

問 23 ウ

[解説]

電流(A)・電圧(V)・電力(W)の間には以下の関係式が成り立つ。

$$A \times V = W$$

電力は電流と電圧の積で表される。また答えの単位である「Wh」は、電力量の単位で 1W の電力を 1 時間使用した場合すると 1Wh になる。

$$\text{電力量} = W \times \text{使用時間}$$

次に設問にある力率とは、流れる電流が実際に機器で使用された割合を示す数値である。この設問では力率が(100%)で、流れた電流の全てが機器で消費されるという条件なので計算上は特に考慮する必要ない。

上記を踏まえて設問に戻ります。機器で使用する電力が

$$10A \times 100V = 1000W$$

図を見ると、通電している時間が 1.5 時間とわかるので

$$\text{電力量(Wh)} = 1000W \times 1.5 \text{ 時間} = 1500$$

消費する電力量は 1500Wh が適切である。

問 24 エ

[解説]

ア:「当月受注ファイル」は当月の情報だけなので、直前の3か月分の顧客別の商品別受注実績は出力できない

イ:「当月受注ファイル」は当月の情報だけなので、直前の3か月分の商品別の顧客別受注実績は、出力できない

ウ:担当者の受注額は顧客マスタファイルからわかるが、顧客からどの商品受注したかの情報が、「当月受注ファイル」は当月の情報だけなので、直前の3か月分の商品別の担当者別受注実績は出力できない

問 25 エ

[解説]

$800 \times 600 \times 24 \times 30 = 345600000$ となり、動画像の配信に 最小限必要な帯域幅は、345.6M ビット／秒である。

問 26 イ

[解説]

ア:ビューの説明

ウ:SQL の説明

エ:整合性制約の説明

問 27 エ

[解説]

ハッシュ法は、関数を用いてキー値からデータの格納アドレスを 求めることによってアクセスする方法である。

ハッシュインデックスは、完全に一致するキーを検索する場合には適しているが、「1万円以上」や「今月の売上」、「DB」で始まる売上」のような場合には適さない。

問 28 ウ

[解説]

・第1正規形

繰り返し部分を分離して独立の表にしたものが第1正規形

・第2正規形

第1正規形から部分従属している列を分離したものが第2正規形

・第3正規形

基本キー以外の列に関数従属している列を分離して独立の表にしたものが第3正規形

問 29 ア

[解説]

データベースに対して、頻繁に削除や更新を行った場合、データベースの物理的な記録場所が散在して、アクセス効率が悪くなる場合がある。

「再編成」は、データベースのデータを一旦別の場所へ書き、再度、データベースにリロードすることによってアクセス効率をよくすることができる。

問 30 ア

[解説]

共有ロックは、データを読み込むときに使うロック機能で、共有ロックをかけると、他のトランザクションによる更新処理ができなくなる。ただし、読み込みは可能である。

専有ロックは、データを更新するときに使うロック機能で、占有ロックをかけると、他のトランザクションによる読み込みや更新ができなくなる。

よって、資源に共有ロックがかかっている場合のみ、別のトランザクションが新たに共有ロックをかけることができる。

問 31 ア

[解説]

音声データの符号化速度は 192k ビット／秒(=24k バイト／秒)なので、

$$2.4\text{M} \div 24\text{k} = 100(\text{秒})$$

再生時間 100 秒のデータとわかる。

次に音声データ 2.4M バイトを 128k ビット／秒(=16k バイト／秒)のネットワークでダウンロードするには、

$$2.4\text{M} \div 16\text{k} = 150(\text{秒})$$

150 秒を要する。

再生時間と転送時間の差は 50 秒なので、この「再生時間 50 秒分」をバッファリングし、データをダウンロードしながら再生すれば、最後まで途切れずに再生が行われることになる。

問 32 ウ

[解説]

ア:ネットワークにおいて中継をおこなう機器(ハブ)の一種で、ブリッジと同等の機能を持つ

イ:OSI 基本参照モデルのデータリンク層で接続し、通過するパケットの MAC アドレスを見てパケットを中継するかどうかを判断する通信装置

エ:OSI 基本参照モデルのネットワーク層で接続し、通過するパケットの IP アドレスを見てパケットを最適な経路に中継する通信装置

問 33 ア

[解説]

イ:POP3 の仕様ポートは「110/TCP」

ウ:SMTP で通常のメール転送に使用されるのが「25/TCP」、メールソフトからメールサーバに届けるときに使用する送信専用の宛先ポート(サブミッションポート)が「587/TCP」

エ:SNMP でマネージャ側からエージェントに通知するとき使用される宛先ポートが「161/UDP」、逆にエージェント側からマネージャに通知するとき使用される宛先ポートが「162/UDP」

問 34 エ

[解説]

ア:下位 8 ビット「17」→00010001

ホストアドレス部が「0001」なので問題ない

イ:下位 8 ビット「20」→00010100

ホストアドレス部が「0100」なので問題ない

ウ:下位 8 ビット「30」→00011110

ホストアドレス部が「1110」なので問題ない

エ:下位 8 ビット「31」→00011111

ホストアドレス部が「1111」です。ホストアドレス部がすべて“1”となるアドレスはそのネットワークのブロードキャストアドレスなので PC に割り振る IP アドレスとして不適切

問 35 ウ

[解説]

ア:IP アドレスから対応する機器の MAC アドレスを取得するプロトコル

イ:インターネットプロトコル(IP)の通信制御を補完するプロトコルで、データ配送中のエラー通知や送達エラーを通知する機能を持つ

エ:ゲートウェイ間のホップ数によって経路を制御するルーティングプロトコル

問 36 イ

[解説]

ソーシャルエンジニアリングは、技術的な方法ではなく人の心理的な弱みに付け込んで、パスワードなどを不正に取得する方法。

問 37 ウ

[解説]

ア:デジタル署名には暗号化通信の機能はない

イ:デジタル署名には送達確認の機能はない

エ:デジタル署名と商品売買の許可には関連がない

問 38 エ

[解説]

ア:チェックサムは、データの合計値を検査用に付加し、データに誤りが生じていないかを検査する方式

イ:ミラーリングは、同じデータを 2 台以上のディスクに書き込むことで信頼性を向上させる技術

ウ:耐障害性を高める方法

問 39 ウ

[解説]

ア:リスクアセスメントは組織内のリスクに変化が生じたときや、定期的実施する

イ:過去のデータが蓄積されている場合には、それを活用することで有効なリスクアセスメントにすることができる

エ:リスクアセスメントは組織に潜在しているリスクを把握し、リスクを最適化するために実施される

問 40 ウ

[解説]

外部からのアクセスを受け付ける公開サーバを内部ネットワークに設置すると、攻撃を受けた際の被害が内部ネットワークの他のサーバに波及する恐れがあるため、Web サーバは DMZ に設置するのが適切である。また、DB サーバは外部から直接アクセスされることはないのでファイアウォールで外部と隔てられた内部ネットワークへ設置する。

問 41 ア

[解説]

パケットのヘッダ部だけでなくペイロード部(データ部分)をチャックすることで、ウェブアプリケーションに対するこれらの攻撃を検知し、遮断することが可能である。

問 42 イ

[解説]

ア:コンペア法の説明

ウ:ビヘイビア法の説明

エ:チェックサム法の説明

問 43 ウ

[解説]

ア:WAF(Web Application Firewall)の機能

イ、エ:ファイアウォールの機能

問 44 エ

[解説]

ア:SQL インジェクションに該当

イ:XSS(クロスサイトスクリプティング)に該当

ウ:セッションハイジャックに該当

問 45 ア

[解説]

ポートスキャナは、コンピュータやルータのアクセス可能な通信ポートを外部から調査するツール。

このポートを調査する行為をポートスキャンといい、セキュリティ上の問題のあるサービスや、既知のセキュリティホールがそのままになっているサービスの発見を目的として行われる。

問 46 ウ

[解説]

ア:E-R 図の説明

イ:DFD の説明

エ:流れ図(フローチャート)の説明

問 47 ア

[解説]

イ:データ(属性)とそのデータに対する手続きをひとつにまとめてブラックボックス化すること

ウ:新たなクラスを作る際に複数のクラスから継承すること

エ:オブジェクトにメッセージを伝達すること

問 48 イ

[解説]

ブラックボックステストは、システムへの入力とそれに対して得られる出力だけに着目して、様々な入力に対して仕様書通りの出力が得られるかどうかを検証していくテスト。

ア、ウ、エ：ホワイトボックステストの説明

問 49 エ

[解説]

ア：運用テストは、システムの運用者が業務の流れに沿ってシステムのテストを行い、実際の稼働状況において不具合が発生しないかを検証するために行うテスト

イ：結合テストは、単体テストが終了したモジュール同士を組み合わせで行うテスト

ウ：システムテストは、システムとしての要件が満たされているかを検証するために行われるテスト

問 50 エ

[解説]

ア：バックトラッキングは、存在する問題の解を見つけるために、解の候補をすべて調べることを組織的にかつ効率よく行うための技法

イ：フォワードエンジニアリングは、リバースエンジニアリングによって導き出された仕様に新規ソフトウェア用の変更・修正を加えた新仕様からソフトウェアを作成する技法

ウ：リエンジニアリングは、既存のソフトウェアを利用して新しいソフトウェアを作成するための技術全般を指す言葉

問 51 ア

[解説]

イ：プロジェクトマネジメント計画書に定義される内容

ウ：プロジェクトスコープマネジメント計画書に定義される内容

エ：アクティビティの説明

問 52 ウ

[解説]

各選択肢のパスが完了するまでの日数を計算してみると以下ようになる

ア: $5+15+12+7+3=42$ 日

イ: $5+15+7+10+3=40$ 日

ウ: $5+10+8+12+7+3=45$ 日

エ: $5+10+24+3=42$ 日

最も完了までに日数を必要とする ウ がクリティカルパスとなる。

問 53 ウ

[解説]

ア: COCOMO の説明

イ: 類似法の説明

エ: 標準値法の説明

問 54 イ

[解説]

まず、一人でシステムを組み上げた場合の工数を計算する

入力処理: $20 \times 1 = 20$ (人日) …(1)

出力処理: $10 \times 3 = 30$ (人日) …(2)

計算処理: $5 \times 9 = 45$ (人日) …(3)

設計・テスト項目はコーディング作業の 8 倍なので以下の式となる

設計・テスト: $[(1)+(2)+(3)] \times 8(\text{倍}) = 760$ (人日) …(4)

全作業工数: $(1)+(2)+(3)+(4) = 855$ (人日) …(5)

(5)を 95 日で割り、必要な人員を求める

$855(\text{人日}) \div 95(\text{日}) = 9(\text{人})$

問 55 エ

[解説]

PMBOK では、プロジェクトにマイナスの影響を与えるリスク(脅威)への対応戦略に「回避」「転嫁」「軽減」「受容」がある。

ア、イ、ウ は好機に対応できる対応戦略である。

問 56 エ

[解説]

除去すべき資産を誤って除去すると、資産を共有している別の IT サービスでのトラブルとなる可能性がある。

問 57 ア

[解説]

イ:バックアップの説明

ウ:リスタートの説明

エ:ログファイル(ジャーナルファイル/トランザクションログ)の説明

問 58 イ

[解説]

ア:マシンの技術的な障害を認知することはできない

ウ:オペレータが発生時に認知することはできない

エ:障害発生を検知することはできない

問 59 ア

[解説]

システム監査基準によるとシステム監査の目的は、「組織体の情報システムにまつわるリスクに対するコントロールがリスクアセスメントに基づいて適切に整備・運用されているかを、独立かつ専門的な立場のシステム監査人が検証又は評価することによって、保証を与えあるいは助言を行い、もって IT ガバナンスの実現に寄与することにある。」

問 60 ウ

[解説]

ソフトウェア資産管理は、ソフトウェア、稼働するハードウェア環境、ソフトウェアライセンスを管理すること。

問 61 エ

[解説]

ア、イ：企画業務で実施する作業

ウ：開発業務で実施する作業

問 62 ウ

[解説]

ア：ホスティングサービスの説明

イ：SaaS の説明

エ：開発コスト削減の解説

問 63 エ

[解説]

スマートグリッドとは、スマートメーター等の通信・制御機能を活用して停電防止や送電調整のほか多様な電力契約の実現や人件費削減等を可能にした電力網である。

問 64 エ

[解説]

BYOD とは、従業員が私物の端末を企業内に持ち込んで業務に活用することを指す。

問 65 イ

[解説]

非機能要件とは、システム設計や情報システム開発上の要求分析において、要件、システム要件といった機能面以外の全般を指す。

問 66 エ

[解説]

ア：利害関係者の識別で実施する内容

イ：要件の評価で実施する内容

ウ：要件の合意で実施する内容

問 67 ウ

[解説]

CSR(企業の社会的責任)とは企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆる利害関係者や社会全体からの要求に対して適切な意思決定をすることを指す。

問 68 エ

[解説]

コアコンピタンスとは企業が競合他社に対して圧倒的に優位にある事業分野や、他社にはない独自の技術やノウハウを累積している中核となる部門や分野を指す。

問 69 ウ

[解説]

バリューチェーン分析とは、企業が提供する製品やサービスの付加価値が事業活動のどの部分で生み出されているかを分析する手法。

問 70 エ

[解説]

ア:成長期の説明

イ:衰退期の説明

ウ:成熟期の説明

問 71 イ

[解説]

ア:プロダクトポートフォリオ分析の説明

ウ:投資優先度スクリーンの説明

エ:マーケティングミックスの説明

問 72 イ

[解説]

コンカレントエンジニアリングとは、製品の開発プロセスを構成する複数の工程を同時並行で進め、各部門間での情報共有や共同作業を行なうこと。

ア:インダストリアルエンジニアリングの説明

ウ:シーケンスエンジニアリングの説明

エ:リバーズエンジニアリングの説明

問 73 ウ

[解説]

CAD とはコンピュータ支援設計とも呼ばれ、コンピュータを用いて設計をすること。あるいはコンピュータによる設計支援ツールのこと。

ア:シミュレーションの説明

イ:MRP の説明

エ:CAM の説明

問 74 ウ

[解説]

四つの工程 A, B, C, D で製品を 1,000 個作るのに必要な時間と保有している機械をすべて使ったときの生産能力(時間)を計算すると以下ようになる

工程	1,000 個の製造時間(時間)	保有機器全てを使った場合の生産能力(時間)
A	$0.4 \times 1,000 = 400$	$150 \times 3 = 450$
B	$0.3 \times 1,000 = 300$	$160 \times 2 = 320$
C	$0.7 \times 1,000 = 700$	$170 \times 4 = 680$
D	$1.2 \times 1,000 = 1,200$	$180 \times 7 = 1,260$

よって、能力不足となる工程は C である。

問 75 ウ

[解説]

ワークシェアリングとは、従業員1人当たりの労働時間を短縮したり、仕事の配分方法を見直したりするなどで、労働者間で労働を分かち合うことで 雇用の維持・創出を図ることである。

ア:ワークライフバランスの説明

イ:社内公募制度や社内 FA 制度の説明

エ:選択式福利厚生制度の説明

問 76 ウ

[解説]

ABC 分析とは在庫管理などで原材料、製品(商品)等の管理に使われる手法である。在庫の資産としての価値などの評価(重要度)別にグループ分けを行い管理する。

製品	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	合計
個数	182	136	120	98	91	83	70	60	35	875
累計	182	318	438	536	627	710	780	840	875	
割合	20.80%	36.30%	50.10%	61.30%	71.70%	81.10%	89.10%	90.00%	100%	

項目数の大きい製品から 5 つ足し合わせたところでグループの個数が全体の 70%以上となったので、A 群の製品は 5 種類となる。

問 77 イ

[解説]

A 社が得る市場シェアをみると、B 社がどちらの戦略を採った場合でも、戦略 a1 を採るとシェアが高くなる(40 と 50)ので A 社は、戦略 a1 を採用する。

B 社が得る市場シェアをみると、A 社がどちらの戦略を採った場合でも、戦略 b2 を採るとシェアが高くなる(30 と 25)ので B 社は、戦略 b2 を採用する。

よって、(イ)の組合せになる。

問 78 イ

[解説]

先入先出法は、先に仕入れたものから先に払いだされるという考えに基づいて払出単価の計算を行う。

4 月 10 日は 3,000 個の払出がある。先入先出しの考えで内訳を考えると 2,000 個は前月からの繰り越し分(単価 100 円)、1,000 個は 4 月 5 日購入分(単価 130 円)ということになる。

$$2,000 \text{ 個} \times 100 \text{ 円} + 1,000 \text{ 個} \times 130 \text{ 円} = 330,000 \text{ 円}$$

よって、4 月 10 日の払い出し単価は $330,000 \text{ 円} \div 3,000 \text{ 個} = 110 \text{ 円}$ となる。

問 79 エ

[解説]

ア:OS も著作権法で保護される

イ:アルゴリズムやプログラム言語は保護対象外

ウ:アルゴリズムは保護対象外だが、それを記述した文書およびプログラムは著作権法で保護される

問 80 ウ

[解説]

準委任契約とは、通常の委託契約(請負契約)と同様に委託先に業務を依頼することは同様だが、仕事の完成を契約の目的とする請負契約と異なり、業務(依頼された仕事)の実施自体を目的とする契約形態。

ア、イ:請負契約の説明

エ:労働者派遣契約の説明